

# アカザ

*Chenopodium album var. centrорubrum*

アカザ科

## 名前の由来

若葉の中央が赤いため、シロザの白い若葉に対応して名付けられた。「ザ」は真上から見ると円形の座に見えるとか、若葉を食用に用いることからアカナ(菜)が訛ったものとの説がある。漢字名：藜、または赤麻



アカザ

## 形態的特徴

高さ50~150cmで直立し、茎には明確な筋があり赤いことが多い。葉は大型で三角形に近く、縁に荒い鋸歯がある。若葉は淡紅色で、両面には粉状の毛があり、ざらつく。花は白緑色で小さく径2~2.5mm、茎の先にまとまって円錐状につく。

類似種と見分け方：シロザ。

シロザは若葉や葉の裏面が白いのに対し、アカザは赤い。またシロザの種子は一部が嘴状に突出するのに対し、アカザの種子は突出しない。アカザはシロザの変種で、両者は互いによく似ており、区別は難しい場合が多い。

## 生育環境・分布

荒れ地や畑地、道端など。

分布：国外分布は、中国が原産で、モンゴル、朝鮮。

国内分布は、日本全土。

北海道内分布は、桧山以外の全道で確認されている。

十勝地方では、荒地や畑地、道端などに普通に群生している。裸地になってまだ新しい場所によく見られる。



シロザ(左)とアカザ(右)の若芽

## 生活史

開花時期：8~10月。開花までの年数：1年以内。

寿命：1年草。

## 他生物との関わり

種子は草食性の小鳥類に食べられる。

## 興味深い話

■アカザはシロザの変種であり、古い時代に中国から渡来し、食用に栽培されていたものが野生化したとも言われる。

■乾燥した葉は健胃、強壯、歯痛、虫刺されなどの薬用に用いられる。若葉はビタミンA、Cが豊富で同じ科のホウ

レンソウに似た味。あえものや油炒めにして美味しく食べられる。茎が堅く、直径の太いものを乾燥させると杖として使える。

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期					■							
結実期					■							

## 参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「北海道植物図譜」滝田謙謙 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本II」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社

1982

「原色日本帰化植物図鑑」長田武正 保育社 1976

「名前といわれ 野の草花図鑑4」杉村昇 偕成社 1990

「図説 花と樹の大事典」木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗柏書房 1996

「北海道薬草図鑑 野生編」山岸喬 北海道新聞社 1992

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(鳥水辺)  
類

(葦原・鳥シタカ)  
鳥類  
樹林